

エコアクション 21

環境経営レポート



2020年11月20日発行
(対象期間:2019年7月~2020年6月)

 土佐ガス株式会社

目 次

1. 組織の概要	3
2. 対象範囲	4
2-1.対象範囲	4
2-2.レポートの対象期間	4
2-3.環境経営レポートの発行日	4
2-4.作成責任者	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境管理組織体制	6
5. 環境経営目標	8
5-1.単年度目標	8
5-2.中長期目標	9
6. 環境経営計画	10
7. 環境経営目標の実績	12
7-1.本年度の実績	12
7-2.過去の実績	13
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	15
9. 次年度の取組内容	17
9-1.環境経営目標	17
9-2.環境経営計画	18
10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	20
11.代表者による全体の評価と見直しの結果	22

発 行 日 : 2020年11月20日

発行責任者 : 環境管理責任者 久保 雅寛

次回発行予定 : 2021年11月頃

1. 組織の概要

【事業所名】 土佐ガス株式会社
 【代表者】 代表取締役 宮坂 幸雄

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 取締役部長 久保 雅寛
 環境管理担当者 ショムチーム 岡林 滋朗
 連絡先 TEL:088-882-3165
 FAX:088-884-9270
 E-mail:m_kubo@tosagas.co.jp

【事業活動】 LP ガス事業、上下水道工事事業、電気設備工事事業
 福祉用具貸与及び福祉用具販売事業、住宅改修事業

【事業規模】

設立年月日 昭和 38 年 10 月 16 日
 資本金 5千万円
 売上高・従業員数・延べ床面積

	売上高	従業員数	延べ床面積
2018 年 6 月	1,993.8 百万円	111 人	6,035.3 m ²
2019 年 6 月	1,957.6 百万円	118 人	6,035.3 m ²
2020 年 6 月	1,822.8 百万円	116 人	6,035.3 m ²

会計年度 2019 年 7 月 ～ 2020 年 6 月

事業所	所在地	従業員数	事務所の敷地面積	事務所の延べ床面積
本社	〒781-8121 高知市葛島2丁目3番75号	8 人	1575.9 m ²	2,102.8 m ²
横浜ガスセンター	〒781-0240 高知市横浜 721	62 人	2,914.4 m ²	1,654.9 m ²
佐川営業所	〒789-1202 高岡郡佐川町乙 1902 番地 6	8 人	1345.4 m ²	821.9 m ²
幡多支店	〒787-0010 四万十市古津賀1丁目 139 番地	7 人	755.5 m ²	577.1 m ²
あいこ	〒780-8077 高知市朝倉西町 1 丁目 10 番地 16	22 人	884.1 m ²	786.7 m ²
北萩町オート ガススタンド	〒780-8006 高知市萩町 1-7-27	3 人	892.1 m ²	21.3 m ²
窪川工場	〒786-0008 高岡郡四万十町榊山町 10-20	2 人	660.5 m ²	30.2 m ²
清水工場	〒787-0336 土佐清水市加久見 876 番地	2 人	714.1 m ²	10.0 m ²
宿毛営業所	〒788-0027 宿毛市港南台 2 丁目 9-16	2 人	789.2 m ²	30.0 m ²
合計		116 人	10,531.6 m ²	6,035.3 m ²

2. 対象範囲

2-1.対象範囲 — 全社

土佐ガス株式会社	本社	高知県高知市葛島 2 丁目 3 番 75 号
土佐ガス株式会社	横浜ガスセンター	高知県高知市横浜 721
土佐ガス株式会社	佐川営業所	高知県高岡郡佐川町乙 1902 番地 6
土佐ガス株式会社	幡多支店	高知県四万十市古津賀1丁目 139 番地
土佐ガス株式会社	あいこ	高知県高知市朝倉西町 1 丁目 10 番地 16
土佐ガス株式会社	北萩町オートガスタンド	高知県高知市萩町 1-7-27
土佐ガス株式会社	窪川工場	高知県高岡郡四万十町榊山町 10-20
土佐ガス株式会社	清水工場	高知県土佐清水市加久見 876 番地
土佐ガス株式会社	宿毛営業所	高知県宿毛市港南台 2 丁目 9-16

対象事業:LP ガス事業、上下水道工事事業、電気設備工事事業、福祉用具貸与及び福祉用具販売事業、住宅改修事業

対象人員:118 人

2-2.レポートの対象期間

2019 年 7 月～2020 年 6 月

2-3.環境経営レポートの発行日

2020 年 11 月 20 日

2-4.作成責任者

環境管理責任者 久保雅寛

3.環境経営方針

当社は、やすらぎと感動のあるくらしの創造と提供を経営理念に掲げています。

環境問題への対応が叫ばれる中、当社はこれを重要な課題として認識し、

エネルギー供給事業者として事業活動全体における環境負荷の低減

及びエネルギーの効率的利用に取組み、

安全で豊かな環境を次世代につなげ、環境経営の継続的改善を行います。

以下の行動指針を全社員に周知徹底し、一丸となって環境保全活動に取組み環境負荷の軽減に努めます。

また、その環境経営レポートをインターネットを通じ公開します。

1. CO2排出量の削減

- ・環境配慮商品の普及に取り組みます。
- ・環境にやさしい車を使用し、燃費向上に努めます。
- ・エコドライブを実践し、燃料節減に努めます。
- ・オフィスでの節電に努めます。

2. 廃棄物の削減

- ・事業活動に伴い生じる廃棄物を削減し、分別を徹底すると共に再資源化を推進します。

3. 水使用量の削減

- ・オフィスでの節水に努めます。

4. 環境関連法規制の遵守

5. グリーン購入

- ・環境物品を選び購入するように努めます。

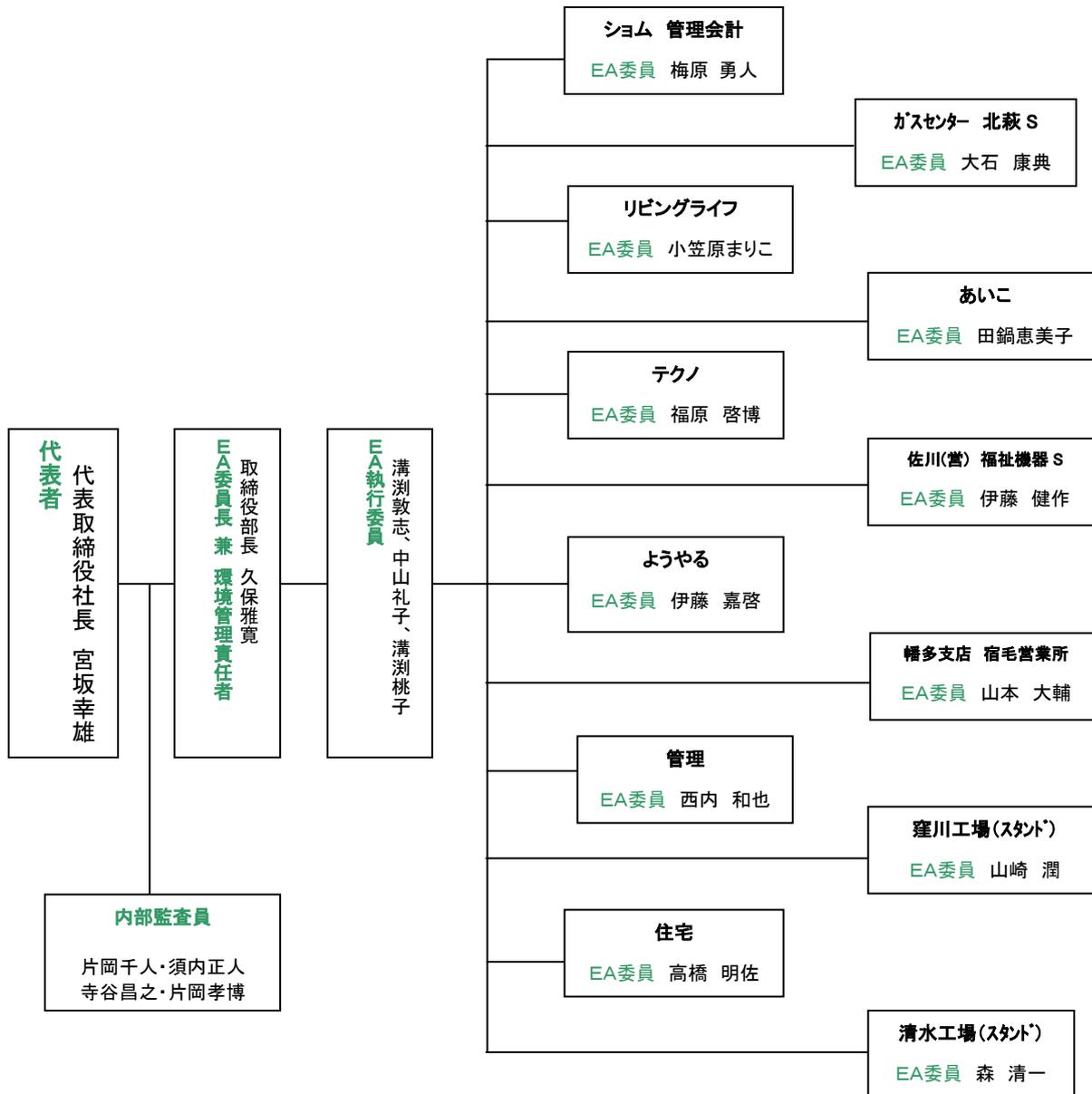
2019年5月1日制定

土佐ガス株式会社

代表取締役

宮坂幸雄

4.環境管理組織体制



役職	責任及び権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 環境経営に関する統括責任 ▪ 環境管理責任者の選任 ▪ 環境経営方針の策定、見直し及び全社員へ周知 ▪ 環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制の承認 ▪ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ▪ 環境経営レポートの承認
EA委員長 兼 環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 環境経営システムの構築・実施・管理 ▪ 環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制の確認 ▪ 環境経営システムの評価と見直し及び代表者への報告 ▪ 環境関連法規等とりまとめ表に基づく遵守評価の実施 ▪ 環境経営レポートの確認
EA執行委員	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェック実施 ▪ 環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制の策定及びとりまとめ ▪ 各データの集計 ▪ 環境経営レポートの作成と公開 ▪ 外部コミュニケーションの窓口 ▪ 環境関連法規等とりまとめ表の作成
EA委員	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 環境経営計画の実施及び実施状況の報告 ▪ チーム内での周知及び教育と、環境経営システムの実施管理 ▪ チーム内での問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を理解し、行動する

3ヶ月に一度(10月・1月・4月・7月)定例会を開催する。
支店、営業所は、年2回(11月・5月)定例会を開催する。

5.環境経営目標

2019年度以降の目標は、基準年及び目標数値を見直し、2018年7月～2019年6月までの実績を基準データとして目標数値を定め取り組んでいきます。環境配慮商品の設置割合は、2018年度には全体の6割に達しましたので、今後数年は、3%/年の設置割合増加を目標として取り組みます。また、グリーン購入については、現状ではほぼ限界にきているため、現状維持を目標とします。

5-1.単年度目標

項目		基準データ 2018.7～2019.6	2019年度 目標 2019.7～2020.6
環境配慮商品の設置割合(%) ※1		60.5	63.5
購入電力(kWh)		270,538.0	266,480.0
化石燃料	LPG 使用量(kg)	219,774.2	217,298.0
	ガソリン使用量(リットル)	23,058.3	22,730.0
	軽油使用量(リットル)	2,074.0	2,070.0
	灯油使用量(リットル)	20.0	20.0
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) ※2		1,166,079.2	1,153,050.0
一般廃棄物排出量(t)		11.57	11.1
産業廃棄物排出量(t)		386.2	374.0
水使用量(m ³)		2,472.0	2,325.0
グリーン購入(%) ※3		53.3	54.0

※1 環境配慮商品は、太陽光発電、ガスコジェネレーション(エコヘイ、エネファーム)、給湯器、コンロ等であり、総設置台数に対する割合である。

※2 購入電力のCO₂ 排出係数は、2018年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数 0.535(kg-CO₂/kWh) を使用した。

※3 グリーン購入の目標には、コピー用紙を含む。

5-2.中長期目標

項目		基準データ 2018.7～ 2019.6	2019年度 2019.7～ 2020.6	2020年度 2020.7～ 2021.6	2021年度 2021.7～ 2022.6
環境配慮商品の設置 割合(%) ※1		60.5%	63.5%	66.5%	69.5%
購入電力(KWh)		270,538	266,480	264,550	264,120
化石燃料	LPG 使用量 (kg)	219,774	217,298	216,414	216,414
	ガソリン使用 量(ℓ)	23,058	22,730	22,590	22,590
	軽油使用量 (ℓ)	2,074	2,070	2,070	2,070
	灯油使用量 (ℓ)	20.0	20	20	20
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) ※2		1,166,079	1,153,050	1,141,965	1,141,965
一般廃棄物排出量(t)		11.6	11.1	10.9	10.8
産業廃棄物排出量(t)		386.2	374.0	366.1	368.1
水使用量(m ³)		2,472	2,325	2,273	2,271
グリーン購入(%) ※3		53.3%	54.0%	54.0%	54.0%

基準データを2018年度に変更しました。

※1 環境配慮商品は、太陽光発電、ガスコージェネレーション(エコヘイ、エネファーム)、給湯器、コンロ等であり、総設置台数に対する割合である。

※2 購入電力のCO₂ 排出係数は、2018年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数 0.535(kg-CO₂/kWh) を使用した。

※3 グリーン購入の目標には、コピー用紙を含む。

6.環境活動計画

CO₂排出量の削減、廃棄物の削減及び水使用量の削減等を目的として、次のような取組みを行ってまいります。

目標	具体的活動計画	担当者	期限
環境配慮商品の販売・ 工事、 及びPR	床暖房によるウォームシェアの推進	大西・横山	2020.6.30
	ガスコジェネレーション(エコヘイ、エネファーム)	大西・横山	2020.6.30
	高効率ガス給湯器、ハイブリッド給湯器	大西・横山	2020.6.30
	Si センサー内蔵型コンロ	大西・横山	2020.6.30
	太陽光発電、V2H、蓄電池	大西・横山	2020.6.30
	節水型トイレ商品	大西・横山	2020.6.30
	LED 照明商品	大西・横山	2020.6.30
CO ₂ 排出量の削減	LPG を継続して使用する	岡林	2020.6.30
	エコドライブの徹底	各チームEA委員	2020.6.30
	オイル交換の実施を徹底する	車輛を有する 担当責任者	2020.6.30
	照明器具は LED を使用する	各チームEA委員	2020.6.30
	使用していない電灯、電化製品を消す	各チームEA委員	2020.6.30
	電灯等の消し忘れチェックシートを利用	各チームEA委員	2020.6.30
	無理・無駄のない空調器の使用	各チームEA委員	2020.6.30
	クールビズ・ウォームビズを推奨し、エアコンの使用を抑える	各チームEA委員	2020.6.30
	ネット上のコミュニケーションツールを活用してコミュニケーションを図り、効率化を進める	各チームEA委員	2020.6.30
	作業時の養生及び作業後の清掃	テクノチーム、ようやる チーム、幡多支店、aico、佐川営業所	2020.6.30
	車両・倉庫の整理整頓 (車両への不要な道具、工具は積載しない)	テクノチーム、ようやる チーム、幡多支店、aico、佐川営業所	2020.6.30
	騒音対策	テクノチーム、ようやる チーム、幡多支店、aico、佐川営業所	2020.6.30
	緩衝材処分方法の徹底 → 空気を抜いて小さくたたんで処分	aico	2020.6.30
	LINEや他アプリを活用した情報共有 → 作業効率アップ、紙の使用を削減	住宅チーム	2020.6.30
事業所内の見回り活動の実施	各チームEA委員	2020.6.30	

目標	具体的活動計画	担当者	期限
一般廃棄物削減	ペーパーレスの推奨	各チームEA委員	2020.6.30
	紙ごみの削減及び再利用(リサイクル)	各チームEA委員	2020.6.30
	タブレットPCを有効に活用する	各チームEA委員	2020.6.30
	事務用品等の詰め替え商品を利用する	管理会計チーム	2020.6.30
	PC及び周辺機器の処分先の選定	情報システムグループ	2020.6.30
	大きいビニールの有効活用	aico	2020.6.30
産業廃棄物削減	消耗品等の再利用(リサイクル)	各チームEA委員	2020.6.30
	ハギレ、建材の残材を有効利用する	各チームEA委員	2020.6.30
	陶器等廃棄物を回収カゴに入れる場合、かさ張るものは割って入れる	各チームEA委員	2020.6.30
	廃棄物等の分別の徹底と定期的な確認チェックの実施	各チームEA委員	2020.6.30
	材料の選定と無駄の無い使用	テクノチーム、ようやるチーム、幡多支店、aico、佐川営業所	2020.6.30
	廃棄物分別の掲示	各チームEA委員	2020.6.30
水使用量の削減	定期的な水漏れのチェック	各チームEA委員	2020.6.30
	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する	各チームEA委員	2020.6.30
グリーン購入	OA紙・文具等について、可能な限り環境物品を選び、購入する	管理会計チーム	2020.6.30
環境関連法規制の順守	環境関連法規を改めて周知し、順守することを再確認する	各チームEA委員	2020.6.30

7.環境目標の実績

7-1.本年度の実績（2019年度）

項目		基準データ 2018.7～2019.6	目標値 2019.7～2020.6	実績値 2019.7～2020.6	(実績値/目標値) ×100
環境配慮商品の 設置割合(%) ※1		60.5	63.5	62.3	-1.2 (98.1%)
購入電力(kWh)		270,538.0	266,480.0	254,743.0	95.6%
化石燃料	LPG 使用量(kg)	219,774.2	217,298.0	198,818.5	91.5%
	ガソリン使用量 (リットル)	23,058.3	22,730.0	21,494.6	94.6%
	軽油使用量(リットル)	2,074.0	2,070.0	1,775.0	85.7%
	灯油使用量(リットル)	20.0	20.0	0.0	0.0%
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) ※2		1,166,079.2	1,153,050.0	1,091,145.7	94.6%
一般廃棄物排出量(t)		11.57	11.07	12.05	108.8%
産業廃棄物排出量(t)		386.2	374.0	404.6	108.2%
産業廃棄物 再資源化率 (%)		82.9	82.9	86.1	103.9%
水使用量(m ³)		2,472.0	2,325.0	2,323.0	99.9%
グリーン購入(%) ※3		53.3	54.0	54.6	+0.6 (101.1%)

※1 環境配慮商品は、太陽光発電、ガスコジェネレーション(エコヘイ、エネファーム)、給湯器、コンロ等であり、総設置台数に対する割合である。

※2 購入電力のCO₂ 排出係数は、2018年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数 0.535(kg-CO₂/kWh) を使用した。

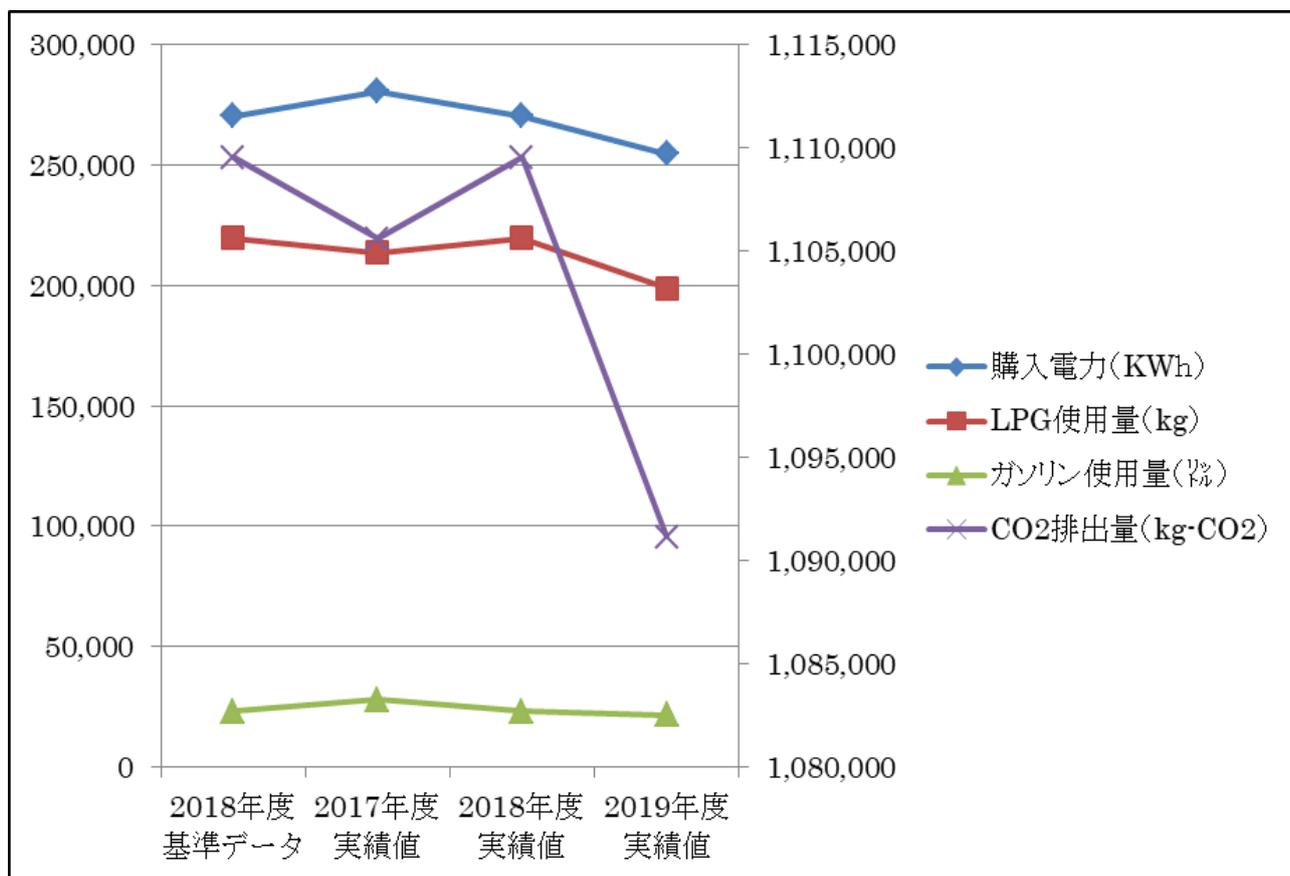
※3 グリーン購入の目標には、コピー用紙を含む。

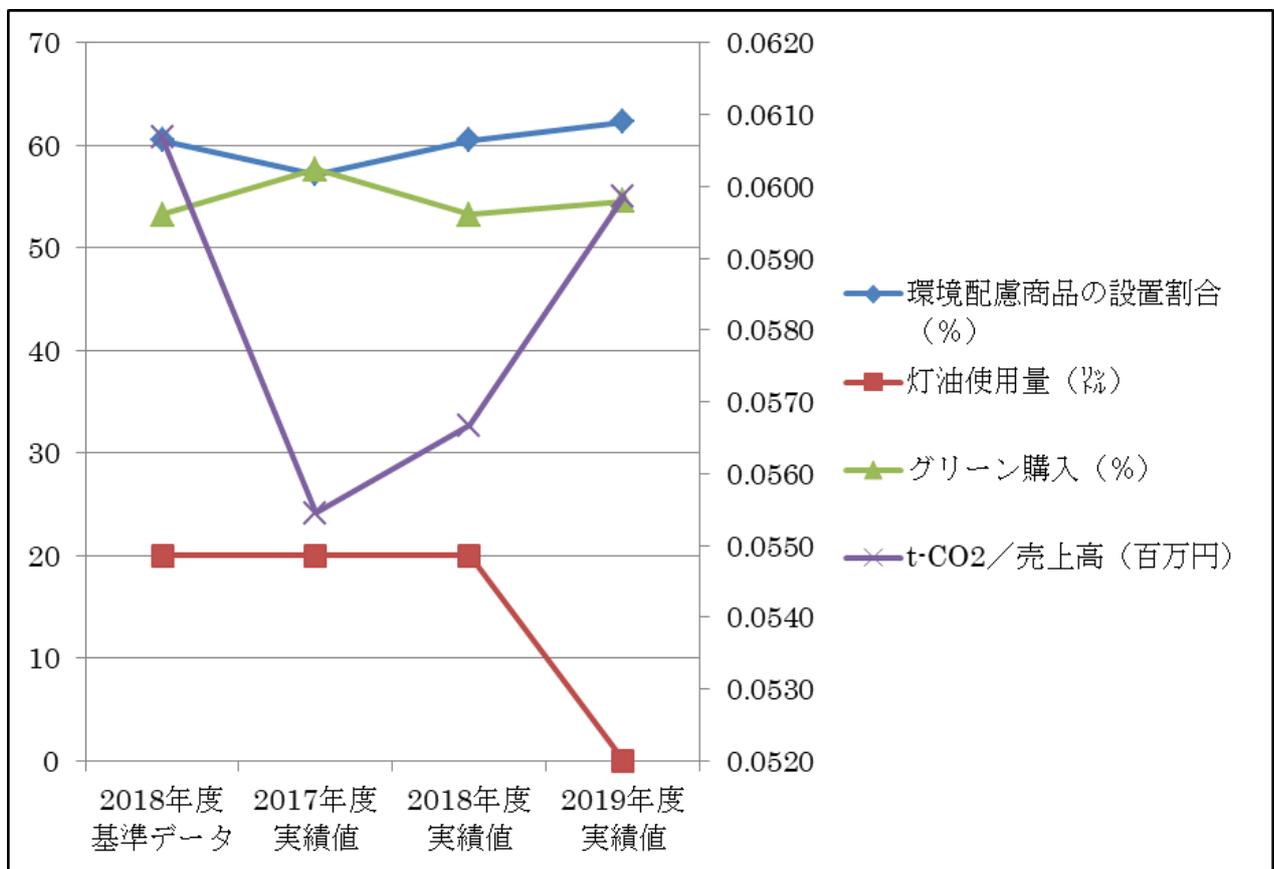
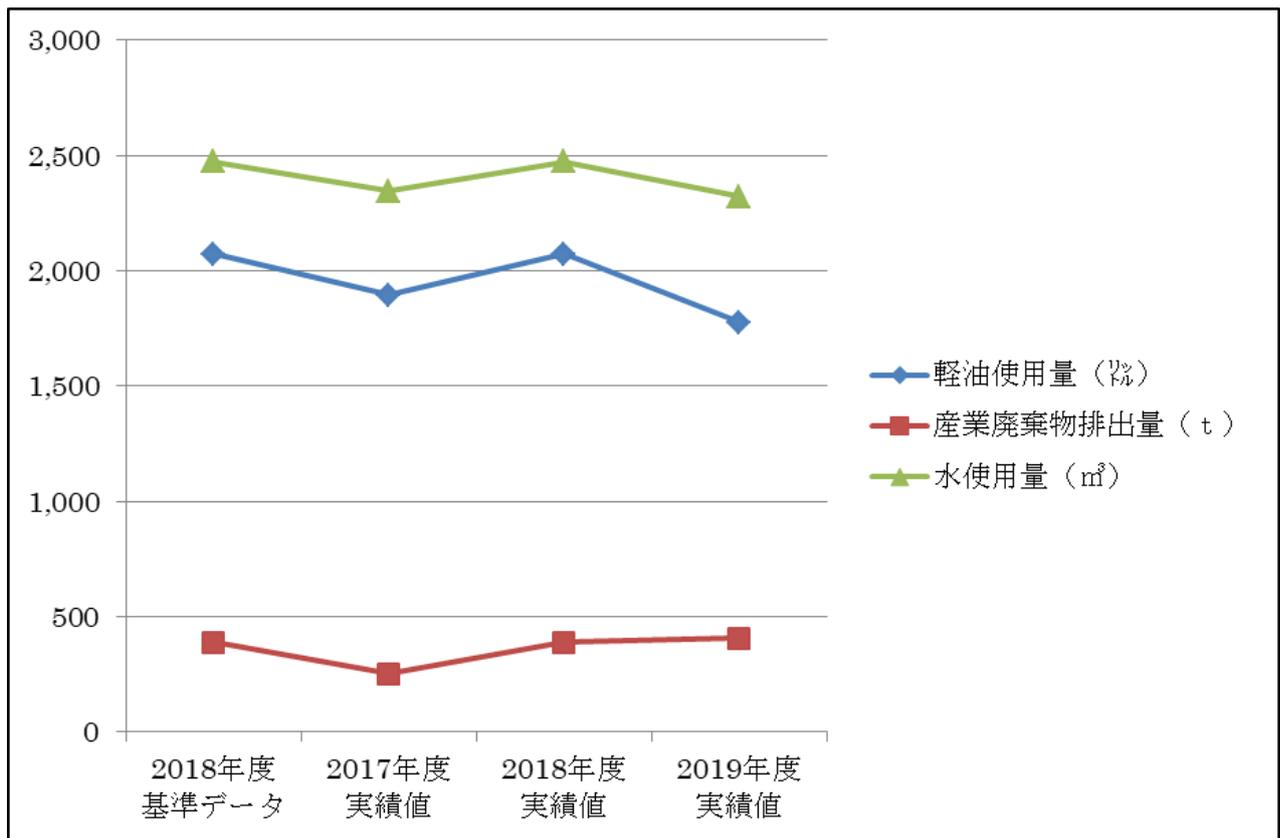
今年度の後半、新型コロナウイルスの影響もあり、環境配慮商品の設置割合が初めて目標に達しませんでした。また、営業車の稼働率も下がったため、LPG 車・ガソリン車等の使用量も全体的に下がった影響もあり、こちらは目標達成となりましたが、売上額も減少し新型コロナの影響をある程度受けた結果となりました。ただ、廃棄物排出量については、昨年度同様に関連会社の改装工事量の増加などの影響によるものと推測されますが、はっきりとした原因は不明です。グリーン購入については、昨年度に引き続き、現状維持を目標として取り組んでいます。今年度は目標を達成できなかった環境配慮商品の設置割合を営業活動に工夫して取り組み、何とか目標を達成したいと思います。基準値を見直し後の最初の年度でしたが、取り組む活動は変わらないので、社員一人一人が高い意識をもって取り組んでいけるよう、定例会や各チームでの話し合いの内容など、工夫しながら取り組んでいきます。

7-2.過去の実績

項目		2018年度 基準データ	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2019年度 実績値
		2018.7~2019.6	2017.7~2018.6	2018.7~2019.6	2019.7~2020.6
環境配慮商品の設置割合(%)		60.5	57.2	60.5	62.3
購入電力(KWh)		270,538	280,710	270,538	254,743
化石 燃料	LPG使用量(kg)	219,774	213,563	219,774	198,819
	ガソリン使用量(%)	23,058	27,845	23,058	21,495
	軽油使用量(%)	2,074	1,895	2,074	1,775
	灯油使用量(%)	20	20	20	0
CO2排出量(kg-CO2)		1,109,537	1,105,606	1,109,537	1,091,146
一般廃棄物排出量(t)		11.6	10.1	11.6	12.0
産業廃棄物排出量(t)		386.2	250.8	386.2	404.6
水使用量(m ³)		2,472	2,347	2,472	2,323
グリーン購入(%)		53.3	57.7	53.3	54.6
売上高(百万円)		1892.9	1993.8	1957.6	1822.8
t-CO2/売上高(百万円)		0.0607	0.0555	0.0567	0.0599

※基準データの売上高は2016年度





8.環境活動計画の取組結果とその評価 (2019年7月～2020年6月)

目標	具体的活動計画	取組み結果	評価	見直し
環境配慮商品の販売・工事、及びPR	床暖房によるウォームシェアの推進	できている	○	推進を継続
	ガスコジェネレーション(エネファーム)	できている	○	推進を継続
	高効率ガス給湯器、ハイブリッド給湯器	できている	○	推進を継続
	Si センサー内蔵型コンロ	できている	○	推進を継続
	太陽光発電、V2H、蓄電池	できている	○	推進を継続
	節水型トイレ商品	できている	○	推進を継続
	LED 照明商品	できている	○	推進を継続
CO ₂ 排出量の削減	LPG 車を継続して使用する	ハイブリッド車(LPGとガソリン)の推進	○	現状を継続
	エコドライブの徹底	ほぼできている	○	現状を継続
	オイル交換の実施を徹底する	できている	○	現状を継続
	照明器具は LED を使用する	できている	○	現状を継続
	使用していない電灯、電化製品を消す	できている	○	現状を継続
	電灯等の消し忘れチェックシートを利用	できている	○	現状を継続
	無理・無駄のない空調器の使用	できている	○	現状を継続
	クールビズ・ウォームビズを推奨し、エアコンの使用を抑える	ほぼできている	○	意識付け継続
	ネット上のコミュニケーションツールを活用してコミュニケーションを図り、効率化を進める	利用できる部署は利用している	○	現状を継続
	作業時の養生及び作業後の清掃	できている	○	現状を継続
	車両・倉庫の整理整頓(車両への不要な道具、工具は積載しない)	できている	○	現状を継続
	騒音対策	できている	○	現状を継続
	緩衝材処分方法の徹底 → 空気を抜いて小さくたたんで処分	できている	○	現状を継続
LINEや他アプリを活用した情報共有 → 作業効率アップ、紙の使用を削減	できている	○	現状を継続	
事業所内の見回り活動の実施	できている	○	現状を継続	
一般廃棄物削減	ペーパーレスの推奨	できている	○	現状を継続
	紙ごみの削減及び再利用(リサイクル)	できている	○	現状を継続
	タブレット PC を有効に活用する	利用できる個人は利用している	○	現状を継続
	事務用品等の詰め替え商品を利用する	できている	○	現状を継続
	PC 及び周辺機器の処分先の選定	できている	○	現状を継続

	大きいビニールの有効活用	できている	○	現状を継続
産業廃棄物 削減	消耗品等の再利用(リサイクル)	できている	○	現状を継続
	ハギレ、建材の残材を有効利用する	できている	○	現状を継続
	陶器等廃棄物を回収カゴに入れる場合、かさ張るものは割って入れる	できている	○	現状を継続
	廃棄物等の分別の徹底と定期的な確認チェックの実施	できている	○	現状を継続
	材料の選定と無駄の無い使用	ほぼできている	○	現状を継続
	廃棄物分別の掲示	できている	○	現状を継続
水使用量の 削減	定期的な水漏れのチェック	できている	○	現状を継続
	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する	できている	○	現状を継続
グリーン購入	OA 紙・文具等について、可能な限り環境物品を選び、購入する	できている	○	現状を継続
環境関連法規制の順守	環境関連法規を改めて周知し、順守することを再確認する	できている	○	現状を継続

9. 次年度の環境経営目標

2019年度以降の目標は、基準年及び目標数値を見直し、2018年7月～2019年6月までの実績を基準データとして目標数値を定め取り組んでいきます。環境配慮商品の設置割合は、2018年度には全体の6割に達しましたので、今後数年は、3%/年の設置割合増加を目標として取り組みます。また、グリーン購入については、現状ではほぼ限界にきているため、現状維持を目標とします。なお、目標値を前年度実績を参考に全項目見直しています。

5-1. 単年度目標

項目		基準データ 2018.7～2019.6	2020年度 目標 2020.7～2021.6
環境配慮商品の設置割合(%)	※1	60.5	66.5
購入電力量(KWh)		270,538.0	264,570.0
化石燃料	LPG使用量(kg)	219,774.2	221,185.0
	ガソリン使用量(ℓ)	23,058.3	22,590.0
	軽油使用量(ℓ)	2,074.0	2,040.0
	灯油使用量(ℓ)	20.0	20.0
CO2排出量(kg-CO2)	※2	1,166,079.2	1,166,725.3
一般廃棄物排出量(t)		11.6	10.9
産業廃棄物排出量(t)		386.2	371.0
産業廃棄物 再資源化率(%)		82.9	85.0
水使用量(m ³)		2,472.0	2,272.0
グリーン購入(%)	※3	53.3	55.0

※1環境配慮商品は、太陽光発電、ガスコジェネレーション(エネファーム)、給湯器、コンロ等のことである。

※2購入電力のCO2排出係数は、2018年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数 0.535(kg-CO2/kWh)を使用した。

※3グリーン購入の目標には、コピー用紙を含む。

5-2. 中長期目標

項目		基準データ 2018.7～ 2019.6	2020年度 2020.7～ 2021.6	2021年度 2021.7～ 2022.6	2022年度 2022.7～ 2023.6	2023年度 2023.7～ 2024.6
環境配慮商品の設置割合(%)	※1	60.5%	66.5%	69.5%	72.0%	74.0%
購入電力量(KWh)		270,538	264,570	263,970	263,370	263,370
化石燃料	LPG使用量(kg)	219,774	221,185	216,443	216,443	216,443
	ガソリン使用量(ℓ)	23,058	22,590	22,530	22,530	22,530
	軽油使用量(ℓ)	2,074	2,040	2,040	2,040	2,040
	灯油使用量(ℓ)	20	20	20	20	20
CO2排出量(kg-CO2)	※2	1,166,079	1,166,725	1,153,378	1,153,378	1,153,378
一般廃棄物排出量(t)		11.6	10.9	10.5	10.4	10.3
産業廃棄物排出量(t)		386.2	371.0	369.5	369.5	369.5
産業廃棄物 再資源化率(%)		82.9	85.0	85.0	88.0	88.0
水使用量(m ³)		2,472	2,272	2,257	2,247	2,247
グリーン購入(%)	※3	53.3%	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%

9.次年度の環境経営計画

目標	具体的活動計画	担当者	期限
環境配慮商品の販売・工事、及びPR	床暖房によるウォームシェアの推進	大西・小松	2021年6月30日
	ガスコジェネレーション(エネファーム)	大西・小松	2021年6月30日
	高効率ガス給湯器、ハイブリッド給湯器	大西・小松	2021年6月30日
	Siセンサー内蔵型コンロ	大西・小松	2021年6月30日
	太陽光発電、V2H、蓄電池	大西・小松	2021年6月30日
	節水型トイレ商品	大西・小松	2021年6月30日
	LED照明商品	大西・小松	2021年6月30日
CO2排出量の削減	LPGを継続して使用する	岡林	2021年6月30日
	エコドライブの徹底	各チームEA委員	2021年6月30日
	オイル交換の実施を徹底する	車両を有する担当責任者	2021年6月30日
	照明器具はLEDを使用する	各チームEA委員	2021年6月30日
	使用していない電灯、電化製品を消す	各チームEA委員	2021年6月30日
	電灯等の消し忘れチェックシートを利用	各チームEA委員	2021年6月30日
	無理・無駄のない空調器の使用	各チームEA委員	2021年6月30日
	クールビズ・ウォームビズを推奨し、エアコンの使用を抑える	各チームEA委員	2021年6月30日
	ネット上のコミュニケーションツールを活用してコミュニケーションを図り、効率化を進める	各チームEA委員	2021年6月30日
	作業時の養生及び作業後の清掃	テクノチーム、ようやるチーム、幡多支店、aico、佐川営業所	2021年6月30日
	車両・倉庫の整理整頓(車両への不要な道具、工具は積載しない)	テクノチーム、ようやるチーム、幡多支店、aico、佐川営業所	2021年6月30日
	騒音対策	テクノチーム、ようやるチーム、幡多支店、aico、佐川営業所	2021年6月30日
	緩衝材処分方法の徹底 → 空気を抜いて小さくたたんで処分	aico	2021年6月30日
	LINEや他アプリを活用した情報共有 →作業効率アップ、紙の使用を削減	住宅チーム	2021年6月30日
事業所内の見回り活動の実施	各チームEA委員	2021年6月30日	

目標	具体的活動計画	担当者	期限
一般廃棄物削減	ペーパーレスの推奨	各チームEA委員	2021年6月30日
	紙ごみの削減及び再利用(リサイクル)	各チームEA委員	2021年6月30日
	タブレットPCを有効に活用する	各チームEA委員	2021年6月30日
	事務用品等の詰め替え商品を利用する	管理会計チーム	2021年6月30日
	PC及び周辺機器の処分先の選定	情報システムグループ	2021年6月30日
	大きいビニールの有効活用	aico	2021年6月30日
産業廃棄物削減	消耗品等の再利用(リサイクル)	各チームEA委員	2021年6月30日
	ハギレ、建材の残材を有効利用する	各チームEA委員	2021年6月30日
	陶器等廃棄物を回収カゴに入れる場合、かさ張るものは割って入れる	各チームEA委員	2021年6月30日
	廃棄物等の分別の徹底と定期的な確認チェックの実施	各チームEA委員	2021年6月30日
	材料の選定と無駄の無い使用	テクノチーム、ようやるチーム、幡多支店、aico、佐川営業所	2021年6月30日
	廃棄物分別の掲示	各チームEA委員	2021年6月30日
水使用量の削減	定期的な水漏れのチェック	各チームEA委員	2021年6月30日
	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する	各チームEA委員	2021年6月30日
グリーン購入	OA紙・文具等について、可能な限り環境物品を選び、購入する	管理会計チーム	2021年6月30日
環境関連法規制の順守	環境関連法規を改めて周知し、順守することを再確認する	各チームEA委員	2021年6月30日

10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部署	遵守状況	確認日
高圧ガス保安法	第26条、第27条	危害予防規程の策定及び遵守、保安教育計画の策定及び実施、保安検査の実施、定期自主検査の実施	日々	横浜ガスセンター 窪川工場 清水工場	遵守	2020. 6.30
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律	第18条、第27条、第37条6	保安教育の実施、一般消費者等に対して保安業務の実施、保安検査の実施	日々	ようやるチーム 佐川営業所 幡多支店	遵守	2020. 6.30
ガス事業法	第30条	保安規程の遵守	日々	ようやるチーム 佐川営業所 幡多支店	遵守	2020. 6.30
消防法	第17条3の3	消防用設備の点検	1年	横浜ガスセンター シヨムチーム	遵守	2020. 6.30
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条、第12条の3、第12条の3第7項	マニフェストの管理、契約書の締結、マニフェスト交付状況報告、保管場所の表示	毎年6月末	シヨムチーム	遵守	2020. 6.30
地球温暖化対策の推進に関する法律	第5条	温室効果ガスの排出の抑制	1ヶ月	各チーム	遵守	2020. 6.30
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	物品等の購入に際して、環境物品等を選択	1ヶ月	発注者及びシヨムチーム、管理会計チーム	遵守	2020. 6.30
使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	第8条、第73条	使用済自動車の適正な引渡し、リサイクル料金の支払等	社有車の車検時及び廃車時	シヨムチーム	遵守	2020. 6.30
浄化槽法	第10条 第11条	浄化槽の適正管理 指定検査機関の行う水質に関する検査の実施	1年	シヨムチーム	遵守	2020. 6.30
建築基準法	第6条	工事基準の遵守 各種申請手続きの適正処理	日々	あいこ アクアチーム	遵守	2020. 6.30
建設業法	第3条	建設業の許可と更新	許可と5年ごとの更新	シヨムチーム	遵守	2020. 6.30

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部署	遵守状況	確認日
家電リサイクル法	第9条 第10条	特定家庭用機器の適正処分	指定業者に処分依頼	あいこ	遵守	2020. 6.30
高知県環境基本条例	第6条	事業活動を行う事により発生する公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するため、廃棄物を適正に処理するなどの必要な措置を講ずる	日々	各チーム	遵守	2020. 6.30
高知市環境基本条例	第5条	廃棄物を適正に処理するなど、事業活動に伴う環境への負荷の低減に努める	日々	本社、あいこ 横浜ガスセンター 北萩町オートガススタンド	遵守	2020. 6.30
四万十市環境基本条例	第5条	環境への負荷の低減その他環境の保全に自ら努め、市が実施する環境の保全及び創造に関する施策に協力する	日々	幡多支店	遵守	2020. 6.30
四万十川条例	第7条	流域内において行う事業活動に関し、四万十川の保全及び流域の振興に自ら努めるとともに、県又は流域市町が実施する四万十川の保全及び流域の振興に関する方策に協力	日々	幡多支店	遵守	2020. 6.30
宿毛市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	第4条	廃棄物を自らの責任において適正に処理する	日々	宿毛営業所	遵守	2020. 6.30
四万十町環境基本条例	第5条	廃棄物等の処理その他の公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するために必要な措置を講じる。	日々	窪川工場	遵守	2020. 6.30

環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2019年7月より2020年6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。かつ過去3年間ありません。

11. 代表者による全体の評価と見直しの結果

■定期見直し（事業年度終了後）

□臨時見直し

実施日：2020年11月11日

代表者サイン

宮坂幸雄



見直しに必要な情報				代表者による見直し																																													
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項																																													
<p>[取り組み状況の評価結果]</p> <p>①環境関連法規等の遵守状況 2019年度終了後に定期評価を実施した結果、環境関連法規等は遵守されている。</p> <p>②問題点の是正処置及び予防処置の状況 是正措置及び予防処置となるものはありません。</p>				<p>[環境経営方針]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>																																													
<p>[環境経営目標・環境経営計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>活動計画 実施状況</th> <th>コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境配慮商品の設置割合</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>これまで順調に推移していたが、新型コロナウイルスの影響で未達成</td> </tr> <tr> <td>購入電力の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>今期はほとんどの事業所で目標達成 今後も全事業所での達成を目指す</td> </tr> <tr> <td>LPG使用量の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ハイブリッド車の導入推進 エコドライブの継続的推進</td> </tr> <tr> <td>ガソリン使用量の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ハイブリッド車の導入推進 エコドライブの継続的推進</td> </tr> <tr> <td>軽油使用量の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>車両台数減少</td> </tr> <tr> <td>灯油使用量の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>灯油の購入実績なし</td> </tr> <tr> <td>CO2の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>車両の異動等で達成・未達成の事業所はあったが、全体では達成できた</td> </tr> <tr> <td>廃棄物の削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>関連会社の改修工事の増加が要因と推測</td> </tr> <tr> <td>総排水量の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>前年並みを維持している</td> </tr> <tr> <td>グリーン購入の推進</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>前年並みを維持している</td> </tr> </tbody> </table>				目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)	環境配慮商品の設置割合	×	○	これまで順調に推移していたが、新型コロナウイルスの影響で未達成	購入電力の削減	○	○	今期はほとんどの事業所で目標達成 今後も全事業所での達成を目指す	LPG使用量の削減	○	○	ハイブリッド車の導入推進 エコドライブの継続的推進	ガソリン使用量の削減	○	○	ハイブリッド車の導入推進 エコドライブの継続的推進	軽油使用量の削減	○	○	車両台数減少	灯油使用量の削減	○	○	灯油の購入実績なし	CO2の削減	○	○	車両の異動等で達成・未達成の事業所はあったが、全体では達成できた	廃棄物の削減	×	○	関連会社の改修工事の増加が要因と推測	総排水量の削減	○	○	前年並みを維持している	グリーン購入の推進	○	○	前年並みを維持している	<p>[環境経営目標・環境経営計画・環境管理実施体制]</p> <p>変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p> <p>前回の更新審査の際に、審査人の方からご指摘いただいた環境経営計画項目の見直しを行いました。また、本社改装後の各実績数値が1年以上記録できたため基準データも全体的に見直し、目標値についてもここ数年の実績値を参考に設定し直します。 環境管理実施体制については特に変更ありません。</p>	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)																																														
環境配慮商品の設置割合	×	○	これまで順調に推移していたが、新型コロナウイルスの影響で未達成																																														
購入電力の削減	○	○	今期はほとんどの事業所で目標達成 今後も全事業所での達成を目指す																																														
LPG使用量の削減	○	○	ハイブリッド車の導入推進 エコドライブの継続的推進																																														
ガソリン使用量の削減	○	○	ハイブリッド車の導入推進 エコドライブの継続的推進																																														
軽油使用量の削減	○	○	車両台数減少																																														
灯油使用量の削減	○	○	灯油の購入実績なし																																														
CO2の削減	○	○	車両の異動等で達成・未達成の事業所はあったが、全体では達成できた																																														
廃棄物の削減	×	○	関連会社の改修工事の増加が要因と推測																																														
総排水量の削減	○	○	前年並みを維持している																																														
グリーン購入の推進	○	○	前年並みを維持している																																														
<p>[その他]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>				<p>[総括] (環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)</p> <p>今年度は、新型コロナウイルスの影響をある程度受け、主力商品の販売が後半落ち込んでしまったため、環境配慮商品の設置割合が未達となったが、来年度以降は目標を達成できるよう、コロナ対策を十分に取った上で販売に力を入れる。エコに対する社員の意識は高くなってきているものの、昨年同様マンネリ化しているようにも見られる。来年度は、マンネリ化する中でも、少しでも活発にエコ活動を実施できるよう環境経営目標項目についての話し合いや、(コロナ禍においては)リモート会議の回数も増やすなど、定期的な意識付けを行い、さらなるエコに対する意識の向上と活動を継続させる。</p>																																													
<p><改善への提案> EA21に取組み始めてから10年以上が経過し、目標数値にも限界がきている項目もあるため、最低でも現状維持が出来るように取組む。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり環境配慮商品の設置割合が始めて未達となったが、最重要目標事項として継続して取組む。</p>				<p>環境経営システムは正常に機能しており、今後もこのサイクルを活かした取組みの改善を行い、目標値の達成を目指し環境経営活動を継続する。</p>																																													
<p>[周囲の変化の状況]</p> <p>①外部コミュニケーション記録より 2019年度において、環境に関する苦情はなかった。</p> <p>②環境関連法規制等の動向他 特になし。今後も法規を遵守し適正に処理していく。</p>																																																	